

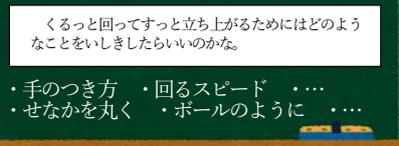
「深い学び」を具現する授業デザイン 体育

学習指導要領における領域・内容

小学校〔第3・4学年〕B 器械運動 ア マット運動

本時のねらい

基本的な前転・後転の映像を見ながら動きを確認することを通して、自己の課題に合う練習方法を選ぶことができる。

授業デザイン例	学習者の視点	授業者の視点
<p>導入で、うまく回っている演技と、うまく回ることができない演技の動画を見せ、うまく回るためにはどのような工夫をすればよいのか子どもたちに問いかける。</p>		
<p><1回目></p>  <p>きれいに回っているね。</p>	<p>くるっと回っているよね。</p> <p>私はずっと立ち上がることができないんだよな。</p>	<p>どのようなことを意識すれば、手本のようにくるっと回って、すっと立ち上がることができるのだろうね。</p> <p>もう一度映像を見て気付いたことを話し合ってみよう。</p>
<p>くるっと回っている人は、スピードがあったけど、回れていない人は動きが遅かったよね。</p>	<p><2回目></p>  <p>Aくん</p>	<p>手の着き方が違ったよね。</p>  <p>自分の課題に合う練習方法を選んで手本のように滑らかな回り方を目指して練習してみよう。</p>
<p>床を押すとき、どっちかが弱いんじゃない？</p> <p>そうだね、左手の方が弱いから左に曲がっていくのかもしれないね。</p>	<p>ぼくは曲がってしまうから線が引いてあるマットで練習しようかな。</p> <p>本当だ、左手の方がぐっと押せてないね。もう1回見て。</p>	<p>タブレットで動画をお互いに撮りながら、自分達の回り方を確認してアドバイスしてみよう。</p> <p><練習の例> 両手のひら全体を床に着き、床を押し返すことを意識させる手型と、まっすぐ回る目安のライン</p>
<p>手の着き方が上手になってきてまっすぐ回っているね。別の練習場所に移動してもいいんじゃないかな？</p>	<p>両手をべたっと着いて、左右同じ力でぐっと床を押すことを意識したらまっすぐ回れたよ。</p>	<p>手をべたっと着いてぐっと押しているいいね。</p> <p>視点U</p>
<p>次は、□□にチャレンジしたいな。</p>	<p>視点⑫</p>	<p>いろいろな工夫をして練習をしていましたね。どんなところを意識するといいいのでしょうか？友達のよかったところも含めて、うまく回るコツをまとめてみましょう。</p>

本時における「深い学び」を具現する仕掛けや発問

- タブレットを使って動画を撮影しながら課題を改善する活動に取り組ませる。このことにより、自分の課題について視覚化でき、自分の課題改善の意識を高めるとともに、児童同士の話し合いも視点を絞って行うことができる。さらに、授業者が児童一人一人の達成状況を見取り、個人内評価を意識した言葉かけを積極的に行う。これにより意欲を引き出すとともに、技の完成度を上げるための具体的なポイントが明確になり、児童の思考の深まりが期待できる。(視点U→視点⑫)